

今回「第三編」の変更・加筆等の主な内容について

2023年8月31日

1 集計・区分

	第二編	第三編（今回）	計
◇大阪府	119 箇所	6 箇所	125 箇所
◇京都府	82 箇所	8 箇所	90 箇所
計	201 箇所	14 箇所	215 箇所

※数量のカウントは、1箇所にも複数種類の災害区分の伝承施設があれば、個別複数を原則とした

2 災害区分

（災害の区分の分類を行い分析・区分は個票の末尾に記載）

◇大阪府	累計箇所数（うち今回第三編追加分）	
安政南海地震	4	
淀川水害(明治18年)	29 (1)	
淀川水害(その他)	6	
大和川水害	3	
寝屋川水害	4	
室戸台風(学校内)	19 (1)	
室戸台風(その他)	17 (1)	※「その他」とは寺院等
水防碑(大阪市内)	14	※概ね区役所単位
阪神淡路大震災	6 (1)	
火災	1	
分類困難	21 (2)	
◇京都府		
淀川水害(明治18年)	1	
昭和10年水害	5 (2)	
昭和28年南山城水害	13 (1)	※同年の台風13号水害も含む
由良川水害	14 (1)	※水系含む
室戸台風(学校内)	8	

室戸台風(その他)—————	8
丹後大震災—————	7 (1)
平和池水害—————	3
火災—————	7
分類困難—————	23 (3)

※「その他」とは寺院等

3 画像・地域等の伝承活動

◇公開画像は、今後の防災的視点から、石碑等とともに、可能な範囲で災害後の現地状況（河川・校舎等）を盛り込むこととした。

◇可能な限り、地域等の災害の伝承活動も個票に掲載するよう努めることとした。

伝承活動事例

①吹田市立豊津第一小学校 室戸台風

⇒昭和9年の室戸台風で若い女性の先生が命をかけて児童を守ったことを、校長先生が紙芝居形式の冊子を作成され、児童にご教授、小学校のHPでも公開中。

②亀岡市 平和池ダム跡地

⇒昭和平和池水害

昭和26年7月11日午前の集中豪雨により貯水池の堤防が決壊し、貯水池の水は一気に流れ下って満水状態の年谷川に合流し、下流の柏原地区約80戸280人のうち40戸を流失させて多数の死者および行方不明者を出した。その数は、柏原地区で75名、亀岡町地内で21名と伝わる。現在も地域の方がこの災害の伝承活動をされておられる。

③大阪市 西淀川区「外島保養院」跡地 室戸台風

⇒近畿、北陸の2府10県が協力して、現在の大阪市西淀川区中島2丁目にあたる場所に、公立のハンセン病療養所、「外島保養院」が収容施設として明治42年4月に開設された。外島保養院のあった場所は、昭和9年の室戸台風の直撃により、防波堤を越えて押し寄せた高波により施設が壊滅し、一瞬にして187人（入所者173人、職員3人、職員家族11人：当時の入所者597人の約3割）と施設拡張工事関係者9人の命が奪われた。患者を救おうとした看護師も殉職された。

現在、外島保養院の跡地付近には、国立療養所呂久光明園入園者自治会により「らい予防法」廃止の記念事業として記念碑が平成9年に建立され、毎年9月に、関係者により犠牲者追悼行事が行われている。